

2008-3

一次試験・筆記解答・解説

p.164~175

一次試験・リスニング解答・解説

p.176~190

二次試験・面接解答・解説

p.191~194

筆 記

リスニング

合 計

35

30

65

解答一覧

一次試験・筆記

1	(1) 1	(6) 3	(11) 4
	(2) 4	(7) 2	(12) 1
	(3) 4	(8) 2	(13) 1
	(4) 1	(9) 4	(14) 2
	(5) 3	(10) 2	(15) 3

2	(16) 4	(18) 1	(20) 3
	(17) 2	(19) 2	

3	(21) 1	(23) 4	(25) 3
	(22) 4	(24) 4	

4 A	(26) 1	4 B	(28) 1
	(27) 2		(29) 4
			(30) 3

4 C	(31) 2	(33) 1	(35) 3
	(32) 4	(34) 2	

一次試験・リスニング

第1部	No. 1	2	No. 5	1	No. 9	2
	No. 2	2	No. 6	2	No.10	1
	No. 3	2	No. 7	3		
	No. 4	1	No. 8	1		

第2部	No.11	1	No.15	2	No.19	1
	No.12	4	No.16	1	No.20	1
	No.13	3	No.17	4		
	No.14	1	No.18	3		

第3部	No.21	2	No.25	1	No.29	1
	No.22	3	No.26	1	No.30	2
	No.23	3	No.27	4		
	No.24	4	No.28	4		

(1) 解答 1

訳

A 「うわー！ 雨が降っているよ」

B 「ぼくのカサを使っているよ。もう一本持っているから」

A 「ありがとう」

解説

You can use my umbrella. の理由が I have () one. で、one は umbrella 「カサ」を指す。one との意味的なつながりから、another 「もう一つの」が正解。other 「別の」、each 「それぞれの」、much 「たくさんの」。

(2) 解答 4

訳

「人は初対面の時、よく握手をする」

解説

hands がキーワード。shake は「～を振る、揺する」で、shake hands で「握手をする」。call 「～を呼ぶ」、build 「～を建てる」、invite 「～を招待する」。for the first time は「初めて」の意味。

(3) 解答 4

訳

A 「ナンシー、大丈夫？ 具合が悪そうだよ」

B 「今日の午後、全校生徒の前で話さなくちゃならないのよ。とても緊張しているの」

解説

in front of ～ は「～の前で」、the whole school は「学校全体」、つまり「全校生徒」。B の1文目の内容から、ナンシーの気持ちに最もふさわしいのは nervous 「緊張して」だと推測する。close 「近い」、delicious 「おいしい」、narrow 「狭い」。

(4) 解答 1

訳

A 「今週末は学校で何か行事があるの、ジェーン？」

B 「ええ。土曜日にピアノのコンサートがあるわ」

解説

空所に入る語を受けてジェーンは a piano concert と答えているので、activity 「活動」の複数形 activities が正解。accident(s) 「事故」、alarm(s) 「警告」、area(s) 「地域」。

(5) 解答 3

訳

「私は今朝、財布を見つけられなかった。あちこちを捜した。ようやく、床の上の本の間にあるのを見つけた」

解説

空所に入る語は、その後の some books on the floor「床の上の本」と意味的につながっているのを、among「～の間に」が正解。it は my wallet を指す。during「～の期間に」、until「～まで」。

(6) 解答 3

訳

「もしそのアートコンテストで入賞すれば、賞金**がもらえるよ**」

解説

空所の後の a prize「賞金、賞品」を目的語にとって意味がとれる動詞は、receive「～を受け取る」、invite「～を招待する」、guess「～を推測する」、serve「(食べ物・飲み物)を出す」。

(7) 解答 2

訳

A「このレストランはとて素晴らしいと思うわ」

B「ぼくもきみと**同意見だね**。またここに来よう」

解説

B の Let's come here again. から、A の this restaurant がとてもいいという感想に B も同意していることが推測できる。agree with ～で「(人)に同意する」、think「思う、考える」、hurry「急ぐ」、share「共有する」。

(8) 解答 2

訳

A「この部屋を見てごらん、スティーブ！ **きれいに掃除をしないのなら**、映画には連れて行かないよ」

B「わかったよ。今するよ、お父さん」

解説

動詞 clean に注目し、clean up ～「～をきれいに掃除する」という表現にする。目的語が代名詞の場合、問題文のように clean + 代名詞 + up の語順になる。won't は will not の短縮形。

(9) 解答 4

訳

A「音楽の音が大きすぎます。ラジオの**音量を下げて**ください」

B「わかりました」

解説

too loud は「(音量が) 大きすぎる」の意味。空所直後に down があるので、turn down ～「～の音量を下げる、小さくする」とするのが適切。

(10) 解答 2

訳

A「ぼく、まだお腹がすいているんだ、お母さん。もう1**枚**パンを食べてもいい？」

B「いいわよ、ボブ」

解説

bread は「パン」で、a slice [two slices / three slices] of bread

「1枚[2枚/3枚]のパン」のように数える。pair「一組」、page「ページ」。sheetはa sheet of paperのように、紙などを数える表現。

(11) 解答 4

訳

「私は毎週日曜日、公園へ散歩に出かけるのが好きだ」

解説

空所の前後にある going と a walk とのつながりを考え、go for a walk「散歩に出かける」という表現にする。ここでの walk は「散歩」という名詞。

(12) 解答 1

訳

A「ジェyson、レインコートを着なさい！ 雨がとても激しく降っているわよ」

B「わかったよ、お母さん」

解説

raincoat「レインコート」から文意を予測し、on に注目して put on ～「～を着る、身に付ける」とする。jump on ～「～に飛び乗る」、start on ～「～し始める」、push on ～「～を押し進める」。

(13) 解答 1

訳

「弟と私は今日、けんかをした。彼は私を本当に怒らせた」

解説

make + (目的語) + (補語) の形で、「(目的語)を(補語)の状態にする」。空所に入る語は make の目的語になるので、目的格の me が正解。have a fight は「けんかをする」。

(14) 解答 2

訳

A「今日はプールへ行くの、お父さん？」

B「行かないよ、カレン。寒すぎて泳げないよ」

解説

空所の前にある too cold がポイント。too ～ (形容詞) to ... (動詞) で「～すぎて…できない、…するにはあまりにも～すぎる」という意味。3の swam は swim の過去形。

(15) 解答 3

訳

「トムは昨日風邪を引いていたが、今日はだいぶ良くなっている」

解説

yesterday と today のトムの体調を比較しているので、well の比較級 better が正解。feel well で「体調が良い」。ここでの much は「ずっと、かなり」の意味で、この後の比較級の意味を強めている。

(16) 解答 4

訳

男の子1「メリー・クリスマス！ 楽しい冬休みを過ごしてね」

男の子2「**きみもね**、マイク。それじゃ、また来年」

解説

Have a nice winter vacation. は「楽しい冬休みを過ごしてね」という意味。祈願やねぎらいの言葉などに対して、「あなたもね」と答えるのが Same to you. という表現。3の Just a minute. は「ちょっと待って」。

(17) 解答 2

訳

男性「日曜日にどこで会いたい？」

女性「**どこでもいいわよ**。あなたは思う？」

男性「駅で会おう」

解説

Where do you want to meet ...? 「どこで会いたいか」という問いに対して、具体的な場所を答えている選択肢はないが、「どこでもいい」という意味の Anywhere is fine. が当てはまる。3の I don't know anyone. は「私は誰も知らない」、4の I'll take that one. は「それをいただきます（買います）」。

(18) 解答 1

訳

女の子「明日、ショッピングセンターの大セールに行く予定なの。
あなたも行く？」

男の子「うん、でもまずお父さんにきいてみないと」

女の子「**もし行けるようだったら**、今晚私に電話してね」

解説

女の子は男の子に、mall「ショッピングセンター」での a big sale「大セール」に行くかどうかを尋ねている。男の子が「お父さんに（行っていीか）きいてみる」と言っていることや、空所の前の Call me tonight「今晚電話してね」とのつながりを考えると、最もふさわしいのは1。2の when it's ready は「それが用意できたら」。

(19) 解答 2

訳

息子「腕をけがしちゃったよ、お母さん」

母親「**どうしたの？**」

息子「自転車で転んだんだ」

解説

hurt は「～を傷つける」, つまり「～をけがする」ということ。ここでは過去形だが, 現在形と同じ形であることに注意する。fell は fall の過去形で, fall off ～ で「～から落ちる」。I fell off my bike. という答えを引き出す問いとして適切なのは, What happened? 「どうしたの?」。

(20) 解答 3

訳

男性「ぼくはスノーボードをしたことがないんだ。きみは?」

女性「私もないわ。でも, 今年の冬に行く予定なの」

解説

I've never been ～ing 「～したことがない」に続けて How about you? 「きみは(どうなの)?」と言っているので, 女性はスノーボードをしたことがあるかどうかを答える。否定文を受けて「～もまた…ない」は either を使うことに注意。正解の3は, I haven't been snowboarding, either. を短く表現したもの。

一次試験・筆記

3

問題編 p.127

(21) 解答 1

正しい語順

I really (enjoyed watching the soccer game between the United States and Japan).

解説

I really 「私はとても～」が文頭に出ているので, 動詞から始める。「～して楽しむ」は enjoy ～ing. watching の後には, その目的語になる the soccer game がくる。最後に「アメリカ対日本の」を, between A and B 「A と B の間の」を使って表す。

(22) 解答 4

正しい語順

This art museum (has paintings from all over the world).

解説

文頭の主語 This art museum 「この美術館」の後には, 動詞の has がくる。has の目的語は paintings 「絵」だが, これを後ろから「世界中からの」が修飾する構造にする。「世界中」を表す all over the world はまとめて覚えておこう。

(23) 解答 4

正しい語順

Lisa bought (a notebook on her way home from) school.

解説

bought は buy 「～を買う」の過去形。この目的語となる a notebook 「ノート」から始める。「帰りに」は「家へ帰る途中に」

ということなので、on one's way home とする。主語が Lisa なので、one's の部分には her が入る。「学校の」は「学校からの」と考えて、from school を文末におく。

(24) 解答 4

正しい語順

解説

Naomi (will **take part in** her school's speech contest).

直美がスピーチコンテストに参加するのはこれからのことなので、未来を表す助動詞 will から始める。「～に参加する」は take part in ～ という熟語表現。この後には「学校のスピーチコンテスト」 her school's speech contest が続く。

(25) 解答 3

正しい語順

解説

My baseball team (is **one of the** strongest teams) in our town.

主語 My baseball team 「私の野球チーム」の後には、動詞の is がくる。「～の一つ」は one of ～ (複数名詞)。「最も強いチーム」は strong 「強い」の最上級 strongest を使って表すが、the strongest teams と the がつくことに注意する。

一次試験・筆記

4A

問題編 p.128～129

ポイント

図書館の掲示。飲み物の自動販売機が故障していることと、代わりにどこで飲み物を買うことができるかが主な情報。掲示と選択肢に出てくる時や場所を表す語句に注意して、正解を見つけよう。

全訳

シェルトン市立図書館

お知らせ

3階にある飲み物の自動販売機は故障中です。今週は使用できません。来週の月曜日の11月17日、3階に新しい販売機を設置します。

飲み物の購入場所

★2階のカフェテリアで、冷たい飲み物、コーヒー、紅茶をお求めいただけます。毎日、午前9時から午後4時30分まで開いています。

★ジェームズ通りにコンビニエンス・ストアもあります。毎日、午前6時から午後11時まで営業しています。コンビニエンス・

ストアまでの地図が必要でしたら、受付の司書にお尋ねください。

語句

notice「お知らせ、掲示」、vending machine「自動販売機」、floor「階」、broken「故障した」、where to ～「どこで～したらいいか」、convenience store「コンビニエンス・ストア」、librarian「司書、図書館員」、front desk「受付、フロント」

(26) 解答 1

質問の訳

「この掲示に書いてあることは」

選択肢の訳

- 1 来週の月曜日まで 3 階で飲み物を買うことはできない。
- 2 図書館は来週まで閉館する。
- 3 本を借りるには 2 階へ行かなくてはならない。
- 4 カフェテリアは違う階へ移ることになっている。

解説

質問の say(s) は「～と書いてある」という意味で使われている。選択肢を一つずつ読んで、掲示の内容に合っているかを確認する必要がある。掲示の 1 文目から、the drink vending machine on the 3rd floor「3 階にある飲み物の自動販売機」が故障していることがわかる。さらに 3 文目に、a new machine「新しい販売機」が next Monday「来週の月曜日」に設置されると書かれているので、1 が正解。until は「～まで」。

(27) 解答 2

質問の訳

「コンビニエンス・ストアへの行き方を調べるためにすべきことは」

選択肢の訳

- 1 午前 6 時から午後 11 時の間に図書館へ電話する。
- 2 受付で地図を求める。
- 3 午後 4 時 30 分に図書館の前に集まる。
- 4 司書と一緒にジェームズ通りまで歩く。

解説

質問の find out ～ は「～を調べる」、get to ～ は「～へ行く」。掲示の最後の文に If you need a map to the convenience store「コンビニエンス・ストアまでの地図が必要であれば」とあるので、この文の理解がポイントになる。正解である 2 の ask for ～ は「～を求める、要求する」。

ポイント

友だち同士のEメールで、 $A \rightarrow B \rightarrow A$ のパターン。2人が冬休みに何をしているかが主な話題。「いつ」「誰が」「どこで」「何を」などの要素に注意して読む。質問中のキーワードから、Eメールのどこに正解が書かれているかを短時間で探せるようにしよう。

全 訳

送信者：ジェフ・グラハム

受信者：ジョーイ・ハート

日付：2008年12月23日 19時7分

件名：ドイツでの休暇

ジョーイへ

冬休みはどう？ ぼくは家族と一緒にドイツで楽しんでいるよ。12月20日にこちらに着いたんだ。たくさんの町や都市を訪ねて、きれいな場所をいっぱい見たんだ。一番気に入った場所はサンスーシ宮殿だね。260年以上前に建てられたんだ。写真をたくさん撮ったよ。帰ったら、きみに写真を見せてあげられるよ。12月28日の金曜日に帰るんだ。12月29日にぼくの家に来ることができるかな？

それじゃ、

ジェフ

送信者：ジョーイ・ハート

受信者：ジェフ・グラハム

日付：2008年12月24日 9時32分

件名：DVD

やあ、ジェフ、

ドイツは楽しそうだね。ぼくも楽しんでいるよ。DVDを何枚か借りて見たんだ。昔のSF映画なんだ。兄[弟]の友だちの1人から借りたんだよ。面白いよ！ 残念だけど、29日はきみの家に行くことができないんだ。いところがその日に結婚するので、ぼくは結婚式に行かなくちゃいけないってお母さんに言われたんだ。でも、次の日なら行けるよ。午前中に行ってもいいかな？ DVDを持っていくから、一緒に見られるよ。ところで、クリスマスはドイツにいるんだよね。どこでクリスマスを過ごすの？

またね、

ジョーイ

送信者：ジェフ・グラハム

受信者：ジョーイ・ハート

日付：2008年12月24日 12時38分

件名：日曜日に会おう

やあ、ジョーイ、

ぼくたちは今朝、ベルリンに着いたんだ。ホテルでクリスマス・ディナーを食べることになっているんだよ。12月30日はあいているから、その日に来ていいよ。午前10時ごろに来てね。お母さんが昼食にドイツ料理を作ってくれるって言ってたよ。きっと気に入ってくれると思うよ。

じゃあね、

ジェフ

語句

vacation「休暇、休日」、Germany「ドイツ」、have a great [good] time「楽しい時間を過ごす」、built<build「～を建てる」の過去分詞、more than「～以上」、be able to「～することができる」、sound like「～のように聞こえる、思われる」、borrow「～を借りる」、science fiction「サイエンス・フィクション、SF」、cousin「いとこ」、get married「結婚する」、wedding「結婚式」、by the way「ところで」、spend「～を過ごす」

(28) 解答 1

質問の訳

「ジェフは休み中に何をしているか」

選択肢の訳

- 1 家族と一緒に旅行している。
- 2 いとこのところに泊まっている。
- 3 家で DVD を見ている。
- 4 歴史のテスト勉強をしている。

解説

ジェフの行動に関する質問なので、ジェフの書いたEメールに注目する。最初のEメールの2文目に、I'm having a great time with my family in Germany. とある。また、次の文の We arrived here ... から、家族と一緒にドイツへ旅行に出かけたことがわかる。

(29) 解答 4

質問の訳

「誰がジョーイに DVD を貸したか」

選択肢の訳

- 1 ジョーイの母親。
- 2 ジョーイの兄[弟]。
- 3 ジョーイのいとこ。
- 4 ジョーイの兄[弟]の友だち。

解説

質問の lent は lend「～を貸す」の過去形。Eメールでは使われていない語だが、DVDs のことが書かれている2番目のEメールを見る。その5文目に、I borrowed them from one of my brother's friends. とある。them は some DVDs を指している。one of ～ は「～のうちの一人」。

(30) 解答 3

質問の訳

「ジョーイは12月30日の午前中にどこへ行くか」

選択肢の訳

- 1 結婚式へ。 2 昼食のためにホテルへ。
3 ジェフの家へ。 4 学校でのパーティーへ。

解説

ジョーイは2番目のEメールの7文目に、I can't go to your house on the 29th. と書いている。また、9文目の But I can come over on the next day. にある the next day「次の日」とは、30日のこと。これを受けて、ジェフは3番目のEメールの3文目で、I'm free on December 30th, so you can come over then. と答えている。

一次試験・筆記

4C

問題編 p.132~133

ポイント

オーストラリア大陸の地図を作成したイギリス人、マシュー・フリンダースの一生に関する5段落構成の英文。フリンダースの子ども時代、地図を作成するまでの経緯、オーストラリアから戻ってくる途中の出来事、イングランドに戻ってきてからの様子などを、時を表す語句とともに、整理しながら読み進めよう。

全訳

マシュー・フリンダース

マシュー・フリンダースは船長だった。彼はオーストラリアへ航海して、オーストラリア大陸の重要な地図をたくさん作った。

フリンダースは1774年、イングランドで生まれた。子どものころ、『ロビンソン・クルーソー』という冒険物語を読んだ。彼はその本が大好きで、水兵になろうと決心した。15歳の時に海軍に入り、1795年にオーストラリアへ航海した。彼はそこで5年を過ごし、たくさんの実用的な地図を描いた。

フリンダースは1800年にイングランドへ戻った。1801年、彼は結婚した。その年、海軍は、フリンダースに再度オーストラリアへ行き、もっと地図を描くように要請した。彼は妻と一緒に連れて行くことができなかったで、ひどく悲しんだ。この旅で、フリンダースは初めてオーストラリアを船で一周した人となった。

彼が描いた地図のいくつかは、100年以上にわたって使われた。

1803年、フリンダースはオーストラリアを離れ、イングランドへ向かった。旅の途中、彼はフランスの島で止まらなければならなかった。イングランドとフランスは戦争をしていたので、フランス人がフリンダースを牢屋へ入れたのだ。6年半後、彼は島から出ることができた。

彼は1810年にイングランドに到着したが、病気だった。まだ36歳だったが、ずっと老けて見えた。イングランドで、彼は自分の航海に関する有名な本を書いた。その当時、人々はオーストラリアという名前を使っていなかった。本の中で、フリンダースはその大陸をオーストラリアと呼んだ。後に、この名前が広まり、海軍もそれを使い始めた。フリンダースは1814年、40歳の時に亡くなった。

語句

sea captain 「船長」, be born 「生まれる」, adventure story 「冒険物語」, called 「～という名前の」, decide to ～ 「～しようと決める」, join 「～に加わる」, sail 「航海する」, drew < draw 「～を描く」の過去形, useful 「役に立つ、実用的な」, return 「戻る」, leave ～ for ... 「～を離れて…へ向かう」, island 「島」, fight a war 「戦争をする」, later 「後に」, at the age of ～ 「～歳の時に」

(31) 解答 2

質問の訳

「フリンダースが初めてオーストラリアへ行ったのはいつか」

選択肢の訳

1 1774年に。 2 1795年に。 3 1800年に。 4 1801年に。

解説

質問の for the first time 「初めて」に注意。第2段落の4文目後半に and in 1795, he sailed to Australia. とあるので、2が正解。1の1774年はフリンダースが生まれた年、3の1800年はイングランドへ戻った年、4の1801年は結婚し、海軍の要請を受けて再びオーストラリアへ行った年。

(32) 解答 4

質問の訳

「オーストラリアへの2度目の旅に関して、フリンダースは何が悲しかったか」

選択肢の訳

- 1 戦争で戦わなければならなかった。
- 2 オーストラリアへ到着することができなかった。
- 3 自分が描いた地図がよいものではなかった。
- 4 妻が彼と一緒に行くことができなかった。

解説

質問の What made Flinders sad ... は make + (目的語) + (補語)「(目的語)を(補語)の状態にする」という構文で、「何がフリンダースを悲しませたか」ということ。his second trip to Australia については、第3段落に書かれている。その4文目に、He couldn't take his wife with him, so he was very sad. とある。この文を、His wife を主語にして言い換えているのが正解の4。

(33) 解答 1

質問の訳

「フリンダースが2度目の旅からイングランドへ戻ってくる時、彼は」

選択肢の訳

- 1 牢屋に入れられた。 2 たくさんの地図を発見した。
3 海軍に入った。 4 休暇を取った。

解説

フリンダースが2度目の航海から戻ってくる途中の出来事は、第4段落に書かれている。その3文目後半に、so the French put him in jail. とある。正解の1は、... he was put in jail. と受動態になっていることに注意する。

(34) 解答 2

質問の訳

「フリンダースはどのくらいの期間、フランスの島で過ごさなければならなかったか」

選択肢の訳

- 1 半年。 2 6年半。 3 15年。 4 36年。

解説

第4段落の最後に、After six and a half years, he was able to leave the island. とある。牢屋に入れられてから6年半後に島から出たということなので、これがフランスの島にいた期間。～ and a half ... (days, months, years など) という表現に慣れておこう。1の half a ～ は「～の半分」。

(35) 解答 3

質問の訳

「フリンダースが1810年にイングランドへ戻った後、彼は」

選択肢の訳

- 1 『ロビンソン・クルーソー』を読んだ。
2 フランスへ移った。
3 本を書いた。
4 船長になった。

解説

in 1810 に注目して、第5段落を見る。その3文目に、In England, he wrote a famous book about his travels. とある。ここから、イングランドへ戻った後、これまで自分がしてきた航海について本を書いたことがわかる。1の read *Robinson Crusoe* は、フリンダースが子どもの頃にしたこと。